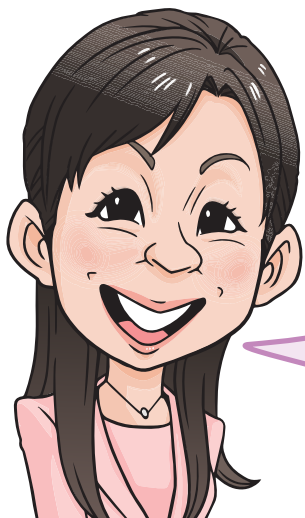


みなさんの声を
ひろえ!八王子市議会議員
厚生委員会委員長

小林ひろえ

平成30年(2018年)第4回八王子市議会定例会 一般質問

「**がんと生きるための行政の役割**」について質問しました!

八王子市議会議員

小林ひろえ

「2人に1人」 一生のうちに2人に1人は、悪性新生物つまり「がん」になると言われている。国立がん研究センターでは、30代~40代の子育て世代における女性の罹患者数が男性に比べて1.64倍多いというデータがある。

抗がん剤等の化学療法での脱毛や手術の影響で失われた、髪の毛や乳房等の身体の変化は、本人のみならず、家族の精神面にあたえる影響は、とても大きい。ウィッグや補正下着等、がん患者の心理的不安・負担を緩和するためにも八王子市独自の支援を検討すべき。

重要な問題であるが、求められる支援は様々であるため「がん相談支援センター」と意見交換を行い現場の声もうかがったうえで行政が取り組むべき支援を検討し、施策に反映していきたい。

がんママカフェのような民間の支援団体に保健師等の専門職を派遣するなど市はサポートを行うとともに行政と中核病院・NPO・民間の支援団体やがん経験者と連携し、**地域におけるがん患者支援のネットワーク作りや縦割り行政の壁を越えて新しく庁内のネットワークの構築も必要。**

今後は、連携会議を設置し、民間支援団体への健康・子育て相談などのサポートについても検討する。

**行政**

H29年に八王子市で策定した「がん対策推進計画(H30~35年度)」には、がん予防の計画はあっても支援の計画がない!!「**がんと生きる」「がんになっても安心して暮らせる社会の構築**」を実現するために行政の役割、支援について再度検討する必要がある。

「がん相談支援センター」など関係機関と連携して、がん患者及び家族への支援のあり方を検討する。

小林ひろえが提案し、実現した政策

- ◎八王子市独自の不妊治療助成金制度が開始されました。
- ◎病児・病後児保育施設が空白地であった西南部地域で、利便性の高い西八王子駅前に設置されました。
- ◎市の公共施設にPPS(特定規模電気事業者)を導入し、2年間で1億1672万円の経費削減に成功しました。
- ◎八王子市情報がSNS(ソーシャルメディアサービス)を活用し発信されています。
- ◎八王子市の保有データの活用(オープンデータ)への取り組みがスタートしました。
- ◎農地を貸したい・売りたいへのマッチング事業の農地バンク制度が導入されました。
- ◎教員の負担軽減のため小中学校全校へ校務支援システムを導入されました。
- ◎ダブルケアが八王子市の上位計画「アクションプラン」に位置づけられました。
- ◎障がい者の日常生活用具にタブレットとアプリが導入されました。(東京都内では、初めて!)

